

『新潟県中越沖地震』における広報活動について

笹岡 和幸¹・伊藤 雅一¹

¹北陸地方整備局 長岡国道事務所 調査課 (〒940-8512 新潟県長岡市中沢4丁目430-1)

平成19年7月16日に「新潟県中越沖地震 (マグニチュード6.8)」が発生し、この地震により当事務所管内でも全面通行止めなど道路に大きな被害を受け、地震直後から様々な広報媒体を活用して道路利用者等に広報活動を行いました。今回、「中越沖地震」のような突発的な事象発生時における広報活動の事例を報告するとともに、本報告を通して平常時の広報活動のあり方について考察し、報告を加えるものです。

キーワード 地震直後、広報媒体、道路利用者、広報活動

1. 広報活動の概要について

この地震により、当事務所が管理している国道8号、116号において8箇所が全面通行止めとなり、特に長岡市と柏崎市とを結ぶ国道8号長岡市大積千本町地先では斜面崩落により道路が寸断されました(写真-1)。

道路利用者等への情報提供として地震が発生した7月16日から行った広報活動について、道路の復旧状況(通行止め等)とあわせて時系列にまとめたものが図-1となります。

今回、「地震発生」、「管内直轄国道の通行止め解除(7月23日)」、「地震発生から1ヶ月後(8月17日)」等の節目に報道関係者、道路利用者はもとより事務所内に向けて様々な媒体を活用して広報活動を行っています。

次に各情報発信先毎の広報活動内容について紹介します。



写真-1 被災した
国道8号長岡市大積千本町地先

図-1 地震発生からの主な広報活動(時系列)

(1) 報道関係者、道路利用者に向けて

a) 投げ込み(発生から23日通行止め解除まで)

情報を伝えたい先は報道関係者となり、報道結果として道路利用者への正確でかつ迅速な道路情報を伝えてもらえるよう心がけました。

◆**正確な情報**：いつ現在の情報なのかを必ず表示し、通行止め箇所(通行に支障があるかないか)を中心に位置図を添付(必要最低限の情報としました)。

◆**迅速な発信**：FAXにて発信。

	マスコミ、ユーザーへ				所内へ
	①投げ込み	②ホームページ	③携帯サイト	④コミュニティFM	⑤庁内放送
●平成19年7月16日(月) 地震発生 通行止め8箇所	↓	↓	↓		
○平成19年7月17日(火) 通行止め2箇所	↓	↓	↓		
○平成19年7月19日(木) 通行止め1箇所	↓	↓	↓		
○平成19年7月20日(金) 通行止め1箇所	↓	↓	↓		
●平成19年7月23日(月) 通行止め解除	↓	↓	↓	7/18~	7/17~
●平成19年7月25日(水) 柏崎市周辺の交通状況	↓	↓	↓		~7/24
●平成19年7月26日(木) 柏崎市内で不燃物運搬	↓	↓	↓		
●平成19年8月17日(金) 本格復旧工事のお知らせ	↓	↓	↓		
●平成19年10月2日(火) 柏崎BP相談窓口開設	↓	↓	↓		

発生直後から管内直轄国道の通行止めが解消した23日までの1週間で計16回実施しました(図-2)。

また、通行止めとなっていた「国道8号長岡市大積千本町地先」の応急復旧工事の完了を受け、開通の30分前に報道関係者を対象に現地説明を実施しています(写真-2)。

図-2 投げ込み資料 (右下は位置図)

いつ現在の情報なのかを必ず記載。

通行止めの情報は必要最低限度の情報で記載。



写真-2 開通前の現地説明

b) 投げ込み (通行止め解除から)

23日の通行止め解除からは、柏崎市内への復旧活動(救援物資等の輸送など)の支援を目的として、市内で

多くの渋滞が発生していたことから一般車の市内への乗り入れや通過の自粛を呼びかけるため、道路管理者として直接提供できる交通量や復旧工事に関する情報を発信しました。また、所轄警察署の協力のもと柏崎市内での不燃物搬出に関わる交通規制の情報を道路利用者に提供する啓発広報を実施しました(図-3、図-4)。

図-3 7月25日投げ込み資料 (柏崎市周辺の交通量)

柏崎市周辺の幹線道路の交通量のデータとあわせて市内への通過の自粛を呼びかけています。

図-4 8月17日投げ込み資料 (地震発生から1ヶ月: 本格復旧工事の実施等について)

配布先: 長岡市記者会、長岡地域記者会

7/23まで、国道8号長岡市大積千本町地先での道路崩壊や段差による車両通行不能箇所の応急復旧は完了していますが、応急復旧した段差すりつけや歩道部の損傷については、現在、復旧作業中です。

c) ホームページ/携帯サイト

ホームページ (携帯サイト) における情報を伝えたい先は道路利用者となり、正確かつ迅速な道路情報はもとより、より多くの方に伝えること心がけました。

迅速な発信として、投げ込み後すみやかにホームページ (携帯サイト) に掲載をし、かつ通常投げ込み時に使用している『新着情報』のほか、今回のような突発的な事象発生時のみに表示している『緊急情報』においても

掲載しています(図-5)。

図-5 ホームページ(トップページ)



『緊急情報』：地震など突発的な事象が発生した場合にHP上に表示。

『新着情報』：通常から投げ込み記事やお知らせを掲載している。

今回は、放送内容の緊急性、公共性や日頃からの関わりによりFM放送による自主的な(無料での)放送をしてもらいました。

FMながおかは7月18日から、FMピッカラは7月20日から放送を開始しています。

特にFMながおかにおいては、応急復旧工事が完了し管内の直轄国道の通行止めが解消した23日から9月3日まで自主放送を継続してもらいました(図-7)。

また、通行止め箇所が国道8号長岡市大積の1箇所となった19日から通行止めを解除した23日の前日まで現地の応急復旧工事の状況や今後の予定について、1日1回ホームページにて掲載しました(図-6)。

図-6 応急復旧工事の状況(長岡市大積千本町地先)



応急復旧状況と今後の予定を記載。

図-7 地震発生からのFMながおかによる放送内容

- ◆ 7月16日 中越沖地震 発生
- ◆ 7月18日~ 「長岡国道事務所からのお願い」として放送。
※放送時間は1日のうち不定期に放送。

国土交通省長岡国道事務所からのお願いです。
中越沖地震で被災した地域への救援物資等の円滑な輸送を支援するため、特に、道路の被害が集中している柏崎市内への一般車の乗り入れ・通過は、お控えいただくようお願いいたします。
国土交通省長岡国道事務所では、7月16日に発生した中越沖地震により被災した国道8号及び116号の災害復旧工事を進めています。
国道は、被災した地域の方々の復旧・復興に必要な幹線道路のため、一刻も早い災害復旧に全力を挙げて取り組みますが、そのため、片側交互通行等の規制が生じる場合がありますので、通行される皆さまのご協力をお願いいたします。

- ◆ 7月23日~ 国道8号長岡市大積千本町地先の通行止め解除を受け、「長岡国道事務所からのお願い(part2)」として放送。
※放送時間は1日のうち不定期に放送。

国土交通省長岡国道事務所からのお願いです。
中越沖地震で被災した地域への救援物資等の円滑な輸送を支援するため、特に、道路の被害が集中している柏崎市内への一般車の乗り入れ・通過は、お控えいただくようお願いいたします。
国土交通省長岡国道事務所では、7月16日に発生した中越沖地震による土砂ずりにより通行止めとなった国道8号長岡市大積千本町は対面2車線で開通し、現在通行ができます。
国道は、被災した地域の方々の復旧・復興に必要な幹線道路のため、一刻も早い災害復旧に全力を挙げて取り組みますが、そのため、片側交互通行等の規制が生じる場合がありますので、通行される皆さまのご協力をお願いいたします。

(2) 事務所内部に向けて(庁内放送の実施)

全節までは、道路利用者(報道関係者)への広報活動について紹介しました。今回の地震ではさらに事務所内部に対しても情報発信を実施しています。

地震発生の翌日(17日)から通行止めを解除し、事務所の防災体制を「非常」から「注意」に切り替えた(24日)までの毎朝8:30に管内の被災状況など現在の事務所の状況について庁内放送によりお知らせしました。

『防災・安全』の観点からも道路利用者(報道関係者)への情報発信はもちろんのこと、事務所全体で情報共有することは様々な部署で復旧活動を行ううえで事務所の一体感につながる重要なことと感じました。

d) コミュニティーFM

情報を伝えたい先は道路利用者(主にドライバー)となり、地域と密接に関わりのあるコミュニティーFM(FMながおか、FMピッカラ:柏崎)に働きかけ、柏崎市内の渋滞緩和に向けて市内への流入を抑制するとともに、本格復旧工事に伴う工事規制への理解を促すことを目的に放送を実施しました。

2. 広報活動の結果について

広報活動に対する結果として、ホームページのアクセス数について紹介します。

平成19年度と過去3年間のホームページ（トップページ）のアクセス数はグラフ-1に示すとおりです。

地震発生月の7月のアクセス数が他の月に比べて突出していることがわかります。

月平均アクセス数が約2万件のところ約3倍のアクセスがあり、発信した情報を普段より多くの人が見ていることが確認できます。

また、平成19年度のホームページ上のコンテンツについてアクセス数の多い順に並べたのが表-1となります。

地震発生月の7月に着目した場合、『緊急情報（6月：35位）』、『新着情報（6月：8位）』についてアクセスが急激に伸びたことがわかります。この結果からも地震発生に伴い発信した情報が普段より多くの人にみてもらっていることが確認できます。

グラフ-1 ホームページ（トップページ）アクセス数

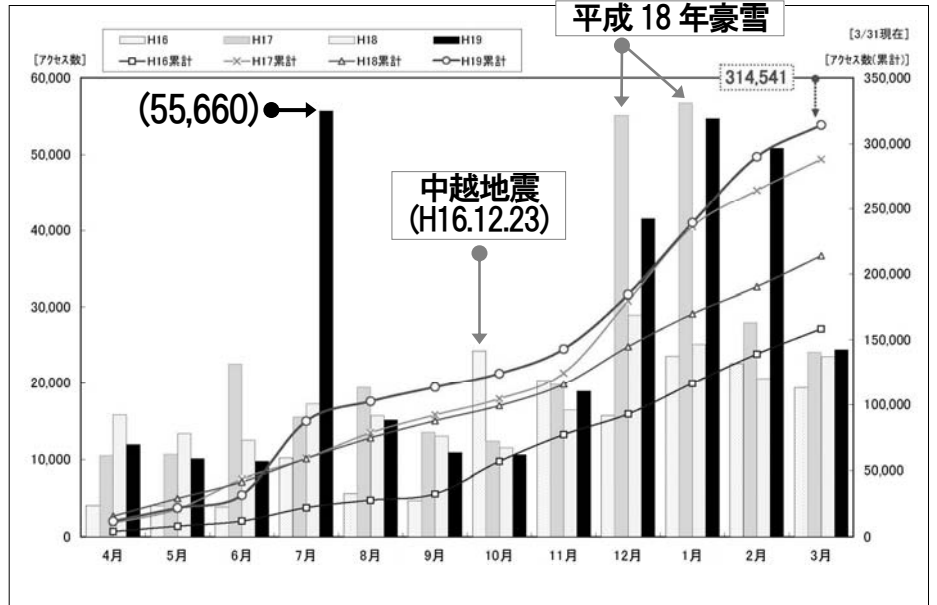


表-1 コンテンツランキング

順位	コンテンツ名											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1位	⑩事業概要	⑩事業概要	⑩事業概要	緊急情報	⑩事業概要	⑩事業概要	⑩事業概要	雪道運転のため	雪道運転のため	⑩事業概要	雪道運転のため	雪道運転のため
2位	雪みち情報	みんなの道博電報	みんなの道博電報	道路規制情報	道路規制情報	道路規制情報	雪道運転のため	雪みち情報	雪みち情報	雪みち情報	雪みち情報	雪みち情報
3位	道路規制情報	道路規制情報	道路規制情報	⑩事業概要	大和PA77-11C 社会実験	雪道運転のため	道路規制情報	⑩事業概要	⑩事業概要	みんなの道博電報	⑩事業概要	⑩事業概要
4位	入札公告	入札公告	入札公告	災害情報明示欄	新着情報	入札公告	⑩事業概要	降雪予測	降雪予測	⑩事業概要	みんなの道博電報	道路規制情報
5位	雪道運転のため	⑩事業概要	⑩事業概要	新着情報	⑩事業概要	入札公告	11-11C 社会実験	入札公告	道路規制情報	道路規制情報	感動街道(冬)	道路規制情報
...												

3. 最後に

今回、記者発表、ホームページ/携帯サイト、FM放送など様々な広報媒体を活用して道路利用者（報道関係者）に向けた情報発信を行いました。

これは、『防災・安全』の観点から①道路利用者への正確で迅速な道路情報の発信と道路管理者が提供できる情報により②柏崎市内への一般車の乗り入れや通過の自粛を促すことによる復旧活動支援の一助になることが大きな目標でした。結果として、ホームページの7月アクセス数の急激な伸びなど発信した情報を見てもらっていることは確かだと思いますが、道路利用者にとどのように伝わっているのか定量的に評価することは難しく、評価方法の検討が必要と思われます。

また、現在、地震災害のような突発的な事象に限らず普段からの広報活動のあり方においても「道路関係業務の執行のあり方」改革本部の最終報告書（4月17日）が出され、広報広聴経費の適正化が求められています。

今後、道路管理者として道路利用者に提供すべき情報は何か、どのように提供すべきか検討しなければならないと考えます。

